

日本語教育センター日本語到達目標

2023年3月

日本の大学・大学院等への進学を目指す当センターの学生及び教員が、それぞれ学習目標、指導目標として参照するためのガイドラインです。

		初級前半	初級後半	中級前半	中級後半	上級
読むこと	目標	簡単な短い文章が読める	身近な話題についての文章が読める	複雑ではない一般的な文章が読める	一般的な文章が読める	専門的な文章が読める
		・ひらがな中心の簡単な文章が読める	・身近な話題についてのまとまった文章が読める ・簡単なお知らせや案内などがわかる ・簡単なメールや手紙が読める	・新聞や雑誌の記事の概要がわかる ・一般的な話題についての文章の概要がわかる  ・専門に関する文章から自分に必要な情報が読み取れる ・レジュメが理解できる	・新聞や雑誌の記事が読める ・一般的な話題についての文章が読める  ・専門に関する文章の概要がわかる	・専門に関する文章が読める ・様々なジャンルの文章の概要がわかる
	日本語教育の参照枠	A1	A1 / A2	B1		B2 / C1
聞くこと	目標	生活に必要なごく基本的な情報が聞き取れる	基本的な表現で話されることが聞き取れる	身近な話題に関するまとまった内容がわかる	・一般的・社会的話題に関する話の概要がわかる ・一般的な講義の概要がわかる	・一般的・社会的話題に関する話が理解できる ・一般的な講義が理解できる
		・日常生活や学校生活に必要な基本的な情報が聞き取れる ・教室活動の簡単な指示、説明がわかる ・場所、人、簡単な形状等を含む内容がわかる ・簡単な自己紹介がわかる	・基本的な表現で話される、学校生活に必要なこと、日常生活で話されることが聞き取れる ・日常の簡単な指示、情報、感想、理由がわかる ・丁寧な表現が聞き取れる	・学校生活に必要なこと、日常生活で話されることが聞き取れる  ・必要な情報を聞き取り大意をつかむことができる  ・話の展開を類推して結論が得られる ・視覚資料を参照しながら、音声情報が聞き取れる	・テレビのニュースなどの一般的・社会的話題の概要がわかる  ・詳細なアナウンス、指示が理解できる ・一般的な講義・ゼミの概要がわかる	・テレビのニュースや時事問題の番組が理解できる  ・一般的な講義・ゼミの内容がほぼ理解できる
	日本語教育の参照枠	A1	A2	B1		B2
話すこと	やりとり	挨拶、簡単な会話ができる	生活に必要な会話ができる	場に合った生活に必要な会話ができる	場に合った会話ができる	場に合った会話が流暢にできる
		・挨拶ができる ・簡単な質問に答えられる ・ごく身近な話題について簡単な会話ができる ・店、郵便局などで簡単な用を済ませることができる ・学校生活に必要な簡単な会話ができる	・基本的な表現を用いた質問に答えられる ・依頼をすることができる ・自分の気持ちを話すことができる ・理由を説明することができる ・ていねいな表現で目上の人と会話ができる  ・進学に関する簡単な質問に答えられる	・人間関係を損なうことなく周囲の人とやりとりができる ・議論のとき、自分の意見が言える  ・面接でよく聞かれる質問に答えられる ・進学説明会で受験に関する質問ができる	・母語話者と自然な会話ができる  ・人間関係を損なうことなく交渉などができる ・議論のとき、論理的に賛成意見・反対意見が言える ・プレゼンテーションなどで質疑応答ができる ・面接などで想定外の質問にも対応ができる	・母語話者と自然な会話が流暢にできる  ・議論のとき、流れを理解し説得力のある意見が言える。 ・プレゼンテーションなどで的確に質疑応答ができる
	日本語教育の参照枠	A1	A2	B1	B1 / B2	B2
発表	目標	身近な話題について簡単に話せる	身近な話題について話せる	一般的な話題について話せる	スピーチやプレゼンテーションができる	スピーチやプレゼンテーションがなめらかにできる
		・自己紹介ができる ・自分や家族について話すことができる ・1日の生活を話すことができる ・身近な話題について事実や状態などを簡単に話すことができる	・身近な話題について自分の意向や感想などを簡単に話すことができる  ・自分の進路、専門について簡単に説明することができる	・一般的な話題について自分の意見や感想などを話すことができる  ・状況を順序だてて説明することができる ・基本的な表現で意見や要求を述べることができる ・基本的な表現で発表ができる  ・自分の進路、専門について詳しく説明することができる	・適切な表現で意見や要求を述べることができる ・適切な表現でスピーチができる ・適切な表現でプレゼンテーションができる	・スピーチがなめらかかつ表現力豊かにできる ・プレゼンテーションがなめらかにできる
	日本語教育の参照枠	A1 / A2	A2 / B1	B1	B2	C1
書くこと	目標	身近なことについて書ける	身近なことについてまとまった文章が書ける	意見文・簡単な志望理由書等が書ける	基本的な形式に沿って小論文・研究計画書等が書ける	明瞭で詳細な小論文・研究計画書等が書ける
		・自分や国について簡単な紹介文が書ける ・簡単な日記が書ける ・簡単な申込書等が書ける ・簡単なメール・メッセージが書ける	・身近な話題の作文が書ける ・申込書や願書の基本事項が書ける ・身近な人にメールや手紙が書ける	・意見文・反論文が書ける ・簡単な研究計画書や志望理由書が書ける ・簡単なレポートが書ける ・発表の簡単な原稿やレジュメが書ける ・あらたまったメールや手紙が書ける	・基本的な形式に沿って小論文、研究計画書、志望理由書、レポート等が書ける ・発表の原稿やレジュメが書ける	・明瞭で詳細な小論文、研究計画書、志望理由書、レポート等が書ける
	日本語教育の参照枠	A1 / A2	A2 / B1	B1 / B2	B2	B2 / C1
文字習得の目安	目標	かなと漢字(150字程度)の読み書きができる	漢字(400字程度)の読み書きができる	漢字(800字程度)の読み書きができる	漢字(1200字程度)の読み書きができる	必要に応じて漢字が使いこなせる
使用教科書の目安	『進学する人のための日本語初級』(前半) 『留学生のための日本語初級 上』	『進学する人のための日本語初級』(後半) 『留学生のための日本語初級 下』	『【改訂版】進学する人のための使える日本語中級』 『留学生のための日本語中上級』		『上級日本語教材 留学生のための分野別学習の扉』等	
各レベルの学習にかかる授業時間数の目安 ※1	150~300時間程度	150~300時間程度	200~400時間程度	200~400時間程度	100~400時間程度 ※2	
日本語教育の参照枠	A1 / A2	A2 / B1	B1	B1 / B2	B2	
日本語能力試験※4合格レベル	N5	N4/N3	N3/N2	N2/N1	N1	

※1 入学時の日本語のレベルにより、授業開始レベル、到達レベルは異なります。

※2 中級終了後、卒業までの時間数。

※3 文化庁「日本語教育の参照枠」(報告)(令和3年10月12日)参照。https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkashingikai/kokugo/hokoku/pdf/93476801\_01.pdf

※4 「日本語能力試験」: 詳細は日本語能力試験のページ(国際交流基金、日本国際教育支援協会)参照。https://www.jlpt.jp/